

プログラム番号	06047
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	九州大学大学院生物資源環境科学府		
②学長名	総長 梶山千里		
③所在地	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	農学部・事務長	
	担当者氏名	吉木 美恵子	e-mailアドレス noxjimch@jim.u.kyushu-u.ac.jp
	電話・FAX番号	092-642-2801・092-642-2804	
⑤ホームページ URL	<a href="http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/top/frame_top.html">http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/top/frame_top.html</a>		
⑥大学院在学留学生数	987人(うち、国費留学生 282人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	国際開発研究特別コース：ブロック・モジュールによる生物資源環境科学プログラム
②プログラムの形態	修士課程 + 博士後期課程 (2+3年間)
③実施研究科・専攻	大学院生物資源環境科学府 生物資源開発管理学専攻
	(所在地) 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
④連携大学・研究科・専攻名	九州大学大学院生物資源環境科学府 植物資源科学専攻 生物機能科学専攻 動物資源科学専攻 農業資源経済学専攻 生産環境科学専攻 森林資源科学専攻 遺伝子資源工学専攻
⑤受入れ学生数	25人(修士課程15人、博士後期課程10人) (うち研究留学生優先配置人数：11人(修士4、博士7)) (うち日本人学生数：2人)
⑥担当教員数	合計 218人(うち専任：173人、兼担20人、非常勤：25人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 大学院生物資源環境科学府・教授
	学府長名 今泉勝己

### 【3. プログラムの内容】

#### 1)プログラム開設の趣旨

九州大学大学院生物資源環境科学府では、地球規模での食料問題と環境問題を克服し、食料・生活資材の安定供給、生物生存環境の保全、人類の健康と福祉に貢献することを現代農学の使命と位置づけている。その使命の達成のために、今日の知識基盤社会を支える高度な教養人教育をベースとして、生命科学、環境科学、経済科学などの広範な学問分野において、国際的に通用する卓越した研究手法を身につけた研究者の育成ならびにバランス感覚に優れ、柔軟な考えを持った高度専門職業人の育成を行うことを目標としている。

本プログラムでは、上記方針に基づき、開発途上国、先進諸国からの人材等に対して、アカデミック、非アカデミックの多様なキャリアパスを視野に入れ、当該国及び世界の持続的発展に貢献しうる人材の養成を目指す。修士課程では実践的・総合的能力を涵養し、博士後期課程では高度な専門性と独創性を深化させる。そのため、とくに修士課程では**ブロック・モジュール制**を導入し、生物資源環境科学の複合的な問題について体系的な講義を柔軟かつ効率的に習得せしめ、地域的課題と地球規模での問題の両者に対して合理的思考と高度学術的アプローチを体得させる。これにより、我が国と諸外国との相互理解と人的ネットワークの形成が強化され、国際社会への知的貢献の増進が期待される。

#### 2)プログラムの内容及び特色

本プログラムは、大学院生物資源環境科学府の8専攻により実施し、10月から始まる2学期制をとる。本プログラムによる大学院生はこれら8専攻 32 講座のいずれかに配属されるが、講座、専攻、専攻横断型の指導により、講義・演習・論文作成等を通じて国際人としての幅広い教養と深い専門性が涵養される。**本プログラムの特色**は、既設の「英語コース」での経験を活かし幅広い領域を網羅しつつ、修士課程の講義についてブロック・モジュール制を導入している点にある。

ブロック・モジュール制とは、約4週間を1ブロックとし、各ブロックに2つの講義科目（モジュール）が開講するシステムで、1学期は3ブロック・6モジュール科目で構成される。学生は各ブロックにおいて1つまたは2つのモジュールを履修する。モジュール科目群としては、1）基礎充実を目的とする科目、2）生物資源環境科学の概論となる科目、3）本研究院研究の4つの柱（環境・アジア研究・生命科学・食と農の科学）に関連する科目、4）実践的課題、最新の技術、up-to-date な話題等についての特別講義による科目、を提供する。

**ブロック・モジュール制**は、①集中的な講義により学習効率が向上する；②概論科目については複数の教員が担当することにより、生物資源環境科学の複合的な問題を体系的かつ専門的に学べる；③専門分野に即した柔軟な学習計画が立てられる（例えば、作物栽培等特定の時期に集中したフィールドワークが必要な場合、当該ブロックを実験に充て、他のブロックで講義科目を履修）；④国内外でのまとまった期間を必要とする現地調査やデータ収集などの実施が可能になる；⑤各国の多様な学期制に柔軟に対応でき、留学の接続問題への対処が容易となる、などの利点を有する。

**修士課程**は、ゼミ・修論研究からなる必修科目群、基礎の充実と分野横断型トピックからなるモジュール科目群、各専攻による専門科目群から構成される。必修科目群は5科目18単位で論文作成を行う。モジュール科目群は8科目を開講し、そのうち5科目10単位以上を取得する。専門科目群は自専攻1科目2単位を必修とする。

**博士後期課程**では、専門性が高く世界的に重要な課題や先端的かつ融合的な課題について、研究をさらに深化させる。そのため、**複数指導教員**により各専攻及び各専攻の分野で講究・講究演習の研究指導を受け、論文研究を中心に行い、博士論文を提出し、審査委員会、専攻での審議を受け、教授会で承認された後、学位が授与される。

### 3)教育・研究体制

本プログラムには、農学研究院の他、学内共同施設である生物環境調節センター、熱帯農学研究センター、バイオアーキテクチャーの教員が指導陣として参加する(表1)。学生は配属講座の教員に加え、指導予定教員が推薦する教員、及び特別コース実施会議メンバーから成る複数教員による指導を受ける。本プログラムの運営は、全体を統括する国際開発研究特別コース実施会議により、授業計画の策定、教員配置の調整、単位認定等を行う。また実施会議メンバーの一部は入学試験判定会議を構成し、申請者の選考にあたる。公募、生活指導全般については留学生担当講師がこれにあたり、学生係留学生担当が事務を所轄する。

表1. 教育・研究体制

<b>I. Applied Genetics &amp; Pest Management</b>		<b>IV. Animal &amp; Marine Bioresource Sciences</b>	
<b>1</b>	<b>Bioresources &amp; Management</b>	<b>1</b>	<b>Advanced Marine &amp; Marine Bioresources</b>
<b>2</b>	<b>Genetics &amp; Plant Breeding</b>	<b>2</b>	<b>Animal Science</b>
	① Plant Breeding		① Functional Anatomy
	② Sericultural Science		② Reproductive Physiology
<b>3</b>	<b>Plant Pathology &amp; Pesticide Science</b>		③ Animal Feed Science
	① Plant Pathology	<b>3</b>	<b>Marine Bioresources</b>
	② Pesticide Science		① Marine Biology
<b>4</b>	<b>Zoology &amp; Entomology</b>		② Fisheries Biology
	① Entomology	<b>4</b>	<b>Fish Production Technology</b>
	② Zoology	<b>V. Agricultural &amp; Resource Economics</b>	
<b>5</b>	<b>Biological Control</b>	<b>1</b>	<b>Agricultural Resource Economics &amp; Business Administration</b>
	① Insect Pathology & Microbial Control		① Environmental Life Economics
	② Insect Natural Enemies		② Agricultural Policy
<b>II. Plant Resources</b>			③ Farm Management
<b>1</b>	<b>Applied Plant Science</b>	<b>2</b>	<b>Industrial Organization of Agribusiness</b>
<b>2</b>	<b>Agricultural Botany</b>		① Food Industrial System Analysis
	① Crop Science		② Food Marketing
	② Horticultural Science	<b>VI. Bioproduction Environmental Sciences</b>	
<b>3</b>	<b>Soil Science &amp; Plant Production</b>	<b>1</b>	<b>Bioproduction &amp; Environmental Information Science</b>
	① Soil Chemistry	<b>2</b>	<b>Regional Environment Science</b>
	② Soil Biology & Biochemistry		① Irrigation & Water Utilization
	③ Plant Nutrition		② Drainage & Water Environment
	④ Plant Production Physiology		③ Environmental Soil Engineering
	⑤ Plant Metabolic Physiology		④ Applied Meteorology
<b>4</b>	<b>Agricultural Ecology</b>	<b>3</b>	<b>Bioproduction System Science</b>
<b>5</b>	<b>Environmental Control for Biology*</b>		① Bioproduction Engineering
<b>6</b>	<b>Tropical Crops &amp; Environment**</b>		② Postharvest Science
<b>III. Bioscience &amp; Biotechnology</b>		<b>VII. Forest &amp; Forest Products Sciences</b>	
<b>1</b>	<b>Applied Biological Regulation Technology</b>	<b>1</b>	<b>Systematic Forest &amp; Forest Products Science</b>
	① Applied Biological Regulation Technology	<b>2</b>	<b>Forest Environment &amp; Management Science</b>
	② Bio-Process Design***		① Forest Management
	③ Metabolic Regulation Research***		② Erosion Control
<b>2</b>	<b>Applied Biological Chemistry</b>		③ Forest Policy
	① Biochemistry	<b>3</b>	<b>Forest Bioscience</b>
	② Chemistry & Technology of Animal Production		① Silviculture
	③ Nutrition Chemistry		② Wood Science
	④ Food Chemistry		③ Forest Chemistry & Biochemistry
<b>3</b>	<b>Food Biotechnology</b>	<b>4</b>	<b>Biomaterial Science</b>
	① Food Analysis		① Wood Material Technology
	② Food Hygienic Chemistry		② Bioresources Chemistry
	③ Food Process & Engineering		③ Biomacromolecular Materials
<b>4</b>	<b>Microbial Science &amp; Technology</b>		④ Biomaterial Design
	① Applied Microbiology	<b>5</b>	<b>Forest Ecosphere Management</b>
	② Microbial Technology		① Forest Ecosystem Management
<b>5</b>	<b>Marine Biological Chemistry</b>		② Forest Resource Management
	① Marine Biochemistry	<b>VIII. Genetic Resources Technology</b>	
	② Marine Resource Chemistry	<b>1</b>	<b>Molecular Gene Technology</b>
	③ Marine Environmental Science	<b>2</b>	<b>Protein Chemistry &amp; Engineering</b>
I~VIII: 専攻 ; 1, 2, ... : 講座 (大講座) ;		<b>3</b>	<b>Cellular Regulation Technology</b>
①, ②, ... : 分野		<b>4</b>	<b>Applied Genetic Resources</b>
*生物環境調節センター教員			① Silkworm Genetics
**熱帯農学研究センター教員 (一部)			② Plant Genetics
***バイオアーキテクチャーセンター教員			③ Microbial Genetics